

事業所名 放課後等デイサービス れいんぼ～

支援プログラム

作成日

7 年

3 月

12 日

法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りのある子どもやその家族が地域の中でその人らしく幸せな生活が実現することを目指す。			
支援方針		「たのしい」「できた」「チャレンジ」をモットーにアセスメントをもとにした療育を展開し、子どもたちの個性を尊重しながら、保育士や児童指導員、心理士や作業療法士、言語聴覚士などの専門職がチームとなって支援を行う。			
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで
		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・身の回りを清潔にし、生活に必要な基本的生活スキルの獲得ができるよう支援していきます。 ・見通しをもって主体的に生活できるように、お子さんの理解に合わせて文字や絵カード等によるスケジュール提示を行っていきます。 ・安心して活動に取り組めるように、環境を整えて（刺激の調整）、支援をしていきます。			
	運動・感覚	・粗大運動、微細運動について評価をして、楽しみながら運動能力が向上するようにプログラムを工夫していきます。 ・様々な感覚刺激を無理のない範囲で体験しながら、感覚の幅が広がるように、感覚統合をすすめていきます。			
	認知・行動	・活動を通して視覚支援を適切に取り入れ、聴覚情報（言語指示など）と合わせることで、認知機能の発達を促していきます。 ・お子さんの認知発達に合わせた教材を準備し、1対1での課題や自立的な学習を行い、数量や大小、色、図形や空間等について習得できるようにしていきます。			
	言語コミュニケーション	・相手の気持ちを理解したり、自分の考えを伝えたりするなど社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高めていきます。 ・困ったとき、助けてほしい時に、適切に援助要求ができるようにお子さんに合わせた方法を伝えていきます。			
	人間関係社会性	・遊びの場面を通して大人や友だちと楽しく適切な関わりができるように環境を工夫することで、お子さんの発達に合わせた遊び行い、対人関係や社会性の発達を促していきます。 ・対人関係や社会のルールについて小集団で学び、実践できるプログラムを提供します（ソーシャルスキルトレーニング）。 ・行動の切り替えや感情のコントロールなど気持ちや行動の調整ができるように支援をしていきます。 ・交通機関の利用や金銭管理、余暇活動等自立に向けたより実践的なソーシャルスキルトレーニングを行っていきます。			
家族支援		・必要に応じて個別相談を行い（対面、家庭訪問、オンラインを含む）、発達状況を確認したり、保護者の悩みなどに応じていきます。 ・勉強会やペアレントトレーニングなど保護者向けプログラムを計画し、悩みに合わせてグループで話し合ったり、相談できる機会を作ります。		移行支援	・学校や就労先にスムーズに移行ができるように、必要に応じて移行先と会議をしたり、れいんぼ～退所後でも相談に応じていきます。 ・学校卒業後の生活に向けて学校や地域の企業と連携を行いながら、相談や体験などを行っていきます。
地域支援・地域連携		・保育所等訪問支援を活用し、関係機関との連携に努めています。 ・必要に応じてケース会議等への参加、企画をしています。 ・地域の依頼に応じて発達に関する講演を行っています。		職員の質の向上	・外部研修への参加をしています。 ・法人内研修を実施しています。 ・嘱託医と定期的にカンファレンスを行っています。
主な行事等		・買い物学習（月1回）・季節に合わせた行事（七夕、ハロウィン、クリスマス等）を行っています。 ・ボランティア活動として高崎市緑化運動推進委員会が行っている花の里親に取り組んでいます。			